

大腸CT検査について

CTC : CT-Colonography

- 大腸内視鏡検査に比べ「楽」に検査ができます
- 細いチューブを肛門から数センチ入れ空気を注入するだけです
- 検査時間は10～20分
短時間で終わります

point



放射線
専門医による
画像診断



point



マルチスライス
高速CT装置で
短時間検査



CTCで大腸がんを早期発見！



東御市民病院 放射線技術科

お問い合わせ 0268-62-0572（直通）



大腸CT（CTC：CT-Colonography）

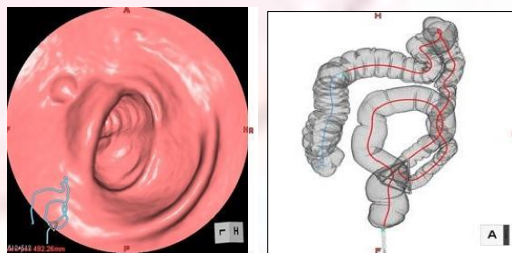
大腸CT

大腸がんは2023年の統計では、女性の第1位、男性では第2位の死亡原因となっています。死亡率減少のためには早期発見、早期治療が重要なことは言うまでもありません。しかし、大腸がんの精密検査である大腸内視鏡検査は痛みや苦痛があるというマイナスイメージを持つ方が多く、精密検査が必要であるにもかかわらず受診をためらう現状があります。

当院ではX線CTによる大腸検査ができます。CTC（大腸CT）は炭酸ガスで大腸を膨らませ、撮影したCT画像を専用の解析ソフトで処理し、あたかも内視鏡で大腸内を見ているような仮想内視鏡像（Virtual Endoscopy）を作成し診断します。



CT装置



大腸CT再構成画像

大腸スクリーニング検査に最適

【CTCの長所】

- 検査時の苦痛が少ない
- 内視鏡が通らないような狭い部分がある場合でもそれより先の画像が得られる
- 検査時間が短い（20分程度）
- 大腸外の腹部情報も得られる

【CTCの短所】

- 平坦な病変や色の変化だけの病変はわからない
- 5mm以下の病変はわかりにくい
- 病変が発見された場合、精密検査や治療には内視鏡検査が必要になる
- 大腸内に便や水分が多量に残ると正確な診断ができない

検査方法

大腸内に空気（炭酸ガス）を注入するための細いチューブを肛門から5cmくらい挿入します。大腸内をよく観察するため、大腸を十分膨らませた状態でCT撮影をします。仰向け・うつ伏せの2体位で、それぞれ10秒以内の撮影時間です。大腸内に空気を注入するため、検査後まれに、お腹が張ったような軽い痛みがでる場合があります。

なお、正確な大腸検査をするには、食事制限や下剤服用などの前処置をおこない、腸管内を検査に適した状態にする必要があります。そのため検査前日から大腸CT用の検査食を食べていただきます。



炭酸ガス注入器



大腸CT用検査食

〈検査前日〉

朝食：中華粥
昼食：カレーライス・コンソメスープ
夕食：親子丼・お吸い物

〈検査当日〉＊検査は午後です

朝食：コーンスープ

＊その他、下剤・バリウムを飲んでいただきます。



東御市民病院 医療機器共同利用

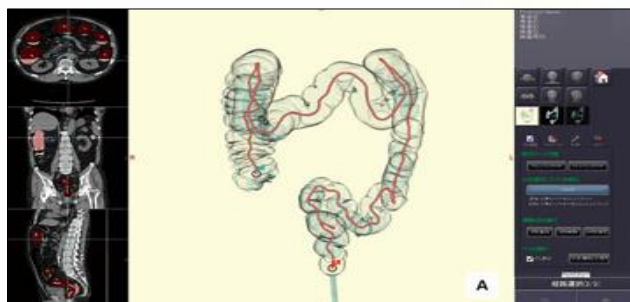
大腸CT（CTC：CT-Colonography）

画像ワークステーションで再構成

大腸CT検査（CTC）では仮想内視鏡表示が可能です。仮想内視鏡表示の最大の利点は、実際の内視鏡では実現できない視点から観察できたり、何度でも再現できることです。通常の内視鏡では実際に観察できない角度でも、仮想内視鏡ならカメラの位置や方向を自由に動かせるので、屈曲の大きな部位や腸の壁に隠れた部分も仮想的に表示することができます。また、視野角を切り替えて任意の広角度で表示することも可能です。

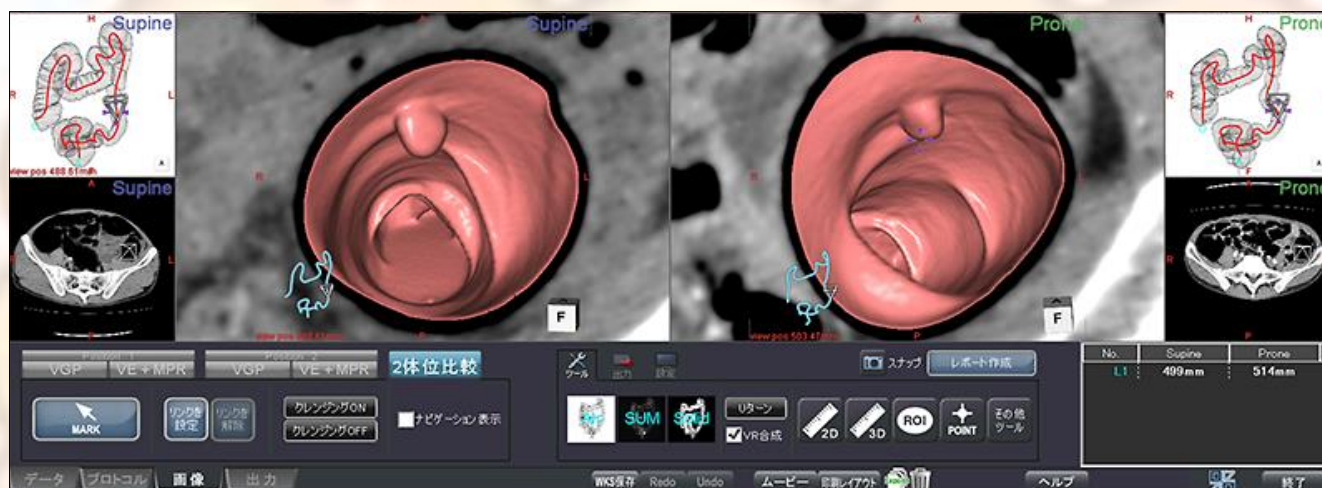


画像ワークステーション



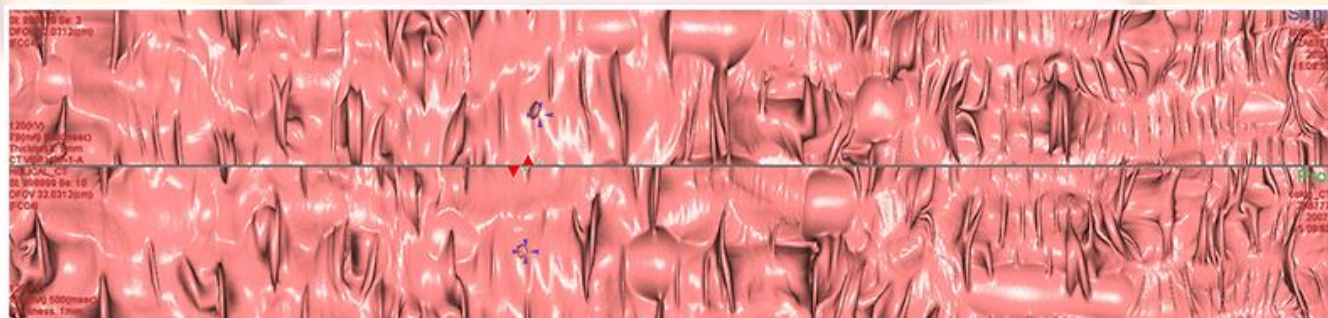
画像再構成①【仮想注腸像】

従来の注腸二重造影法に近似した像が得られる画像再構成法です。腸管の走行や病変の位置関係が明瞭に把握できるのが特徴です。また立体像を自由に回転表示できるため、病変の深達度を診断するうえで重要な側面変形の評価が可能になります。



画像再構成②【内視鏡像】

内視鏡に近似した像が得られる画像再構成法です。CTの二次元データを連続的な三次元像に再構成するものであり、視点を変えたり、対象を回転したりと自由に表示することができます。



画像再構成③【VPG:Virtual Gross Pathology】

大腸切除標本のような粘膜面を展開したように表示する画像です。広範囲の大腸粘膜面を観察し、拾い上げ診断するのに適しています。



大腸CT検査の流れ（予約～検査～結果）



お問い合わせ



TEL 0268-62-0572（放射線科直通）

FAX 0268-63-0320（放射線科直通）

依頼元様
予約取得

●お電話にて市民病院「来院1回目の診察予約」を取得

●依頼票、同意書記入 → 当院へFAX → 患者様へお渡し



市民病院
来院1回目

診察
検査薬処方
検査説明
検査予約
会計

- ①市民病院受付窓口にお越し下さい
（依頼票と同意書を窓口に出して下さい）
- ②医師により検査前診察
（依頼票と同意書の確認、薬剤と検査食の院内処方）
- ③放射線技術科受付窓口にお越し下さい
（検査薬お渡し、検査説明と検査予約取得）
- ④病院会計窓口で会計
（検査予約票発行）



【持ち物】

◆保険証
◆依頼票・同意書
◆会計代（診察・薬剤）

市民病院
来院2回目

検査実施
会計

- ①市民病院受付窓口にお越し下さい
（検査予約票を出して下さい）
- ②放射線技術科窓口にお越し下さい
（受付票を出して下さい）
- ③検査実施
（鎮痙剤の注射あり）
- ④病院会計窓口で会計

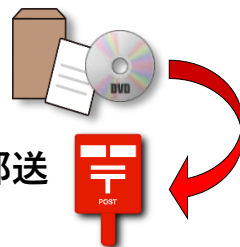


【持ち物】

◆保険証・診察券
◆検査予約票
◆前処置実施票
◆会計代（検査）

読影依頼
報告書
画像DVD
【郵送】

- 画像再構成処理後、遠隔読影依頼
- 読影依頼より5日～6日程度で返却
- 結果報告書と画像DVDを依頼元様の医療機関に郵送
（検査実施より10日前後で依頼元様に到着）



依頼元様
結果説明

- 依頼元様の医療機関で結果説明



東御市民病院 医療機器共同利用